【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成28年11月24日(2016.11.24)

【公開番号】特開2014-129515(P2014-129515A)
【公開日】平成26年7月10日(2014.7.10)
【年通号数】公開・登録公報2014-037
【出願番号】特願2013-241091(P2013-241091)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｌ　83/06　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　33/56　(2010.01)
Ｃ０８Ｋ　5/5419　(2006.01)
Ｃ０８Ｋ　5/07　(2006.01)
Ｃ０８Ｋ　5/098　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　77/38　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　85/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｌ　83/06
Ｈ０１Ｌ　33/00　４２４
Ｃ０８Ｋ　5/5419
Ｃ０８Ｋ　5/07
Ｃ０８Ｋ　5/098
Ｃ０８Ｇ　77/38
Ｃ０８Ｇ　85/00

【手続補正書】
【提出日】平成28年9月30日(2016.9.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
（Ａ）水酸基またはアルコキシ基が結合したケイ素原子を１分子中に少なくとも２個有するフェニルメチルシリコーンと、（Ｂ）１分子中に３個以上の水酸基またはアルコキシ基を有しケイ素原子に結合した有機基がメチル基であるシランまたはシロキサン化合物と、（Ｃ）Ｇａ化合物およびＺｒ化合物と、を含む混合物であり、ケイ素原子に結合したフェニル基とメチル基をモル比２：８～４．５：５．５（フェニル基モル数：メチル基モル数）で含有する熱硬化性シリコーン組成物。
【請求項２】
上記（Ａ）のフェニルメチルシリコーンが線状シリコーンである、請求項１に記載の熱硬化性シリコーン組成物。
【請求項３】
上記（Ａ）のフェニルメチルシリコーンが、水酸基が結合したケイ素原子を両末端に有するジフェニルジメチルシリコーンである、請求項１又は２に記載の熱硬化性シリコーン組成物。
【請求項４】
上記（Ａ）のフェニルメチルシリコーンと上記（Ｂ）のシランまたはシロキサン化合物の混合比が、フェニルメチルシリコーン１００重量部に対してシランまたはシロキサン化

合物０．１～１０重量部である、請求項１～３のいずれか一項に記載の熱硬化性シリコーン組成物。
【請求項５】
上記（Ａ）のフェニルメチルシリコーンと上記（Ｂ）のシランまたはシロキサン化合物との縮合物を含有する、請求項１～４のいずれか一項に記載の熱硬化性シリコーン組成物。
【請求項６】
上記Ｇａ化合物がＧａ（ａｃａｃ）$_3$を含み、上記Ｚｒ化合物がＺｒ（ａｃａｃ）$_4$又はＺｒＯ（２－ｅｔｈｙｌｈｅｘａｎｏａｔｅ）$_2$を含む、請求項１～５のいずれか一項に記載の熱硬化性シリコーン組成物。
【請求項７】
少なくとも上記（Ａ）のフェニルメチルシリコーン及び上記（Ｂ）のシランまたはシロキサン化合物の何れか一方を含み、上記Ｇａ化合物および上記Ｚｒ化合物を含有する液と混合することにより、請求項１～６のいずれか一項に記載の熱硬化性シリコーン組成物となる液。
【請求項８】
請求項７記載の液と混合することにより、請求項１～６のいずれか一項に記載の熱硬化性シリコーン組成物となる液であって、水酸基が結合したケイ素原子を両末端に有しフェニル基とメチル基をモル比２：８～４．５：５．５（フェニル基モル数：メチル基モル数）で含有するジフェニルジメチルシリコーンを含有する液。